

## 予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 令和元年10月1日(火曜日)

午後1時00分～午後1時19分

2. 場 所 委員会室(議場)

3. 出席委員 猶 野 智 和 委 員 長                      下 井 克 己 副委員長  
竹 岡 昌 治 委 員                      徳 並 伍 朗 委 員  
秋 山 哲 朗 委 員                      安 富 法 明 委 員  
岩 本 明 央 委 員                      山 中 佳 子 委 員  
三 好 睦 子 委 員                      高 木 法 生 委 員  
岡 山 隆 委 員                      秋 枝 秀 稔 委 員  
戎 屋 昭 彦 委 員                      杉 山 武 志 委 員  
末 永 義 美 委 員

4. 欠席委員 な し

5. 委員外出席議員

荒 山 光 広 議 長

6. 出席した事務局職員

石 田 淳 司 議会事務局長                      阿 武 泰 貴 議会事務局係長

篠 田 真 理 議会事務局主任

7. 説明のため出席した者の職氏名

な し

8. 会議の次第は次のとおりである。

午後1時00分開会

○委員長（猶野智和君） ただいまより、予算決算委員会を開会いたします。

お諮りいたします。ただいま通知されたとおり、本日付で教育経済委員長から、議案第99号令和元年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第2号）について、本委員会の関連事務があるとして、連合審査会開会申入書を受けたところであります。

つきましては、本委員会としても教育経済委員会との連合審査会を開会したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御異議なしと認めます。よって、連合審査会を開会することに決しました。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君） 先ほどの教育経済委員会で、予算決算委員会との合同審査の申し出をしまして、今、委員長のほうから、一緒に合同審査ということで協力していただきましたので——失礼しました、連合審査、御協力いただきましたので改めて御礼申し上げます。

また猶野委員長と相談しまして、時間、場所については御報告を皆様にしたいと思います。ありがとうございました。

○委員長（猶野智和君） 竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） 開催——連合審査について反対じゃないんですが、私、所管でなかったために中身がよく理解できてないんです。十分に所管の委員会は審議なされた結果なのか。それから、どういう質問、意見等があつてこうなったのか、その辺はあれですか、御説明はないままで進むわけですか。

○委員長（猶野智和君） 教育経済委員長にお伺いしてみます。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君） 竹岡委員の御質問にお答えします。

先ほど、教育経済委員会を開催いたしまして、特にこの美祢市観光事業特別会計補正予算につきまして、前回5月でも連合審査をさせていただき、そのことに基づき、今回こういうふうになっているんですけど、先ほど、執行部のほうから意見を求め、書類を——ペーパーを出していただきました。

しかし、この書類を出していただいたものだけで、はっきり今年度の予算の減額等、来年度以降3カ年の——令和2年、3年、4年の合計金額4億1,000万円という説明がありましたけど、この内容についての精査を教育経済委員会の中で行

いましたが、意見が一部の方であったために、全員の方から意見を求めたいんですけど、それで、私はやはり、これは予算決算委員会との絡みがありますので、皆様方の意見を、改めてより多くの方々の意見を聞いた上で、再度教育経済委員会を開催したいということで連合審査を申し込みいたしました。

○委員長（猶野智和君） 竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） 委員長が今言われたことは、半分は理解できるんですね。でも、所管の委員会で十分な意見、質疑が出てないままで、資料もどういうのが出たか我々わかっておりません。

したがって、どういう資料が出て、それからどういう審議をなされたか、その辺をお聞きした上でないと……。連合審査には賛成しましたので、反対ではないんですよ。ないんですが、いきさつがわからないままに入るわけにいきませんし、何で所管の委員会で十分な意見交換ができなかったのか、その辺もちょっとお尋ねしたいと思うんですね。

○委員長（猶野智和君） 戒屋委員。

○委員（戒屋昭彦君） 竹岡委員の御質問にお答えします。

今、十分な審査ができなかったのかとおっしゃられました。確かに、私も説明をお聞きし、資料も提出していただきました。確かに、内容的に、来年度以降については、またプロポーザルでいろんな内容について御説明があると思いますけど、今年度のやることにつきまして、先ほど申しましたように、5月の臨時会、それから連合審査をやって、10月からの今回の観光事業への予算づけで行われることが延びたということもありますが、やはり、もう少し私は、先ほど申しましたように、委員の皆様方から、本当にこれが重要なこととはわかりますけど、皆様方の意見をはっきり求めて、御意見ございませんか、質疑はございませんかとやらせていただきましたが、本当に一部の方の委員の方の意見でございましたので、本当に十分やったか、出なかったというか、出てほしかったんですけど出なかったということがありますので、ぜひ、私はこれは大変大きい問題ですから、予算決算委員会との関連がありますので、ぜひ、連合審査していただきたいということで、委員の方々もありましたので、それでこのようになっております。

○委員長（猶野智和君） 秋山委員。

○委員（秋山哲朗君） 私のほうから連合審査の申し入れをさせていただきました。

と申しますのも、出た資料、出させてもらった資料からすると——皆さんのほうに入っているかどうかちょっと私もわかりませんが、委員のメンバーには入っていると思います。

前回5月の臨時会で出された資料が減額補正の中で出されておったのが一つと、そして、債務負担行為の内訳という中で、令和2年から4年までのトータルの金額は4億1,500万円ですか、これの内訳が出ておるという中で、4億という金額はいかにも大き過ぎると、これだけの材料だけで判断できかねるというふうなことで、私自身は、こういった手法を使われてやられて、成功したところがありますかと、もし、そういう成功例があるならば出していただきたいという資料請求をしております。しかし、それはまだ出てきておりません。

今回出された資料だけではなかなか我々判断するのは難しいということで、連合審査のほうの申し入れをさせていただきました。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） 今、それぞれ委員からお話を伺ったんですが、開催の日時ですよね、申入書の。10月1日予算決算委員会終了後ということは、こののちということですよ。そうなんですかね。

○委員長（猶野智和君） それはまた、教育経済委員長と私で御相談して……。

○委員（安富法明君） それで、今の話を聞いてると、結局十分な資料——判断をするに足りる資料がないから連合審査でっていうことですが、判断するに足りる資料がないというのを連合でやられても、それなりの資料がないと判断できんことは同じだと思うんですけどね。どうなんですかね、その辺のことは。

○委員長（猶野智和君） そこは一度、教育経済委員会の委員が見られた資料を総務民生委員会の皆さんにも見ていただいて、そこで御判断していただいて。

○委員（安富法明君） そののちに資料、こういうのも欲しいねっていうのがあれば、それを請求してから、のちにまた議論ができるっていうふうに考えていいですか。

○委員長（猶野智和君） もしかすると、安富委員が見られれば、それである程度、御理解いただける資料なのかもしれませんので、ただ、いざそれを一旦見ていただいて御判断いただくことが——足りないものは、また御請求いただくというのが肝要だと思います。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 今のお話を聞いていると、安富委員も言われましたけど、その前に私言おうとしてたことなんですけど。

今回、観光事業における債務負担行為4億1,000万円、かなりの額ですよ。それに対して、資料が十二分に出ていない、これは、この事業をやっていくそのもの自体が、私は準備がきちんとできていないという、こういった認識だと思うんですよ。だから、資料が十分に出せない、こういった事業を行っていくということは、私は時期尚早じゃないかと、このように感じております。

これに対して、連合審査と言われても、もう少しこの辺については資料をしっかりと出していただいて、さらに、そこを教育経済委員会のほうで、私はもうちょっとたくさん、皆さんから、全員から意見が出て、それで、さらに連合審査っていう形が私はいんじゃないかと思っておりますけれども、その中で——入りの段階で、こういった準備ができていないということを本当に感じますので、そのところをもう少し……。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員、先ほど安富委員の時も言いましたが、まず、提出された資料等を見ていただいて御判断いただきたいと思います。

足りないものとかがあれば、また追加で、その連合審査内で御請求いただいて、そこを取り寄せる。その段階のための連合審査でございますので、そのあたり……。

○委員（岡山 隆君） 余りにも準備が整ってない状況で、それを無理やりにやれって言われても、これはちょっと大変ですよ。

○委員長（猶野智和君） ですので今、教育経済委員長がおっしゃってるのは、今の教育経済委員会の中だけでは、なかなかそのあたりの資料、なかなか意見が出ないので、そこで、もう一つの委員会の皆様方とも御相談して御知恵を借りたいというお話だと思います。

○委員（岡山 隆君） こういった資料のない中でやれと言われても、やらんことはないですよ。だけど、もう少しやり方があるんじゃないかなということを行っているんです。

○委員長（猶野智和君） 私、委員長としては、まずは一旦、教育経済委員会で行われた執行部からの説明、そして資料を見ていただいて、そこで足りないものとか、そういうものはまた御指摘いただいて進行していけばよろしいのではないかと思うのですが、皆様、それでよろしいでしょうか。秋山委員。

○委員（秋山哲朗君）　そもそもこの委員会、我々の委員会で意見が出なかったというのが不思議でならんわけですけども。

ですから、どういうふうな資料があったらいいねということを逆に言われたほうがいいと思うんですよ。私自身も能力がないですから、このぐらゐの資料ではなかなか判断しにくいねというふうな判断の中で、自分の思った資料の請求をしたんですけども。

もしもよろしければ、皆さんのほうから、こういう資料がなければ判断できんよということであれば、それも言っていただけたらと思うんですけどね。

○委員長（猶野智和君）　竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君）　秋山委員が言われるように、実はこの予算が、関連した予算、今年度の事業について、議会のほうもインセンティブ制度も考え方が不十分である、それから仕様書等も含めてやりかえて、またお示しをすと言ったままになってるんですよ。

したがって、今回4億1,500万円と言ったら、とてつもない金額だと私は思います。単に計画をつくる。当然プロモーションもするということだろうとは思いますが、それにしても破格な金額だと思います。それに対して、仕様書もなければ考え方もない。ただ数字を羅列したワンペーパーを出されただけで審議してくれて言われても、我々もできませんし。

それから、所管の委員会の皆さんの意見が出なかった、あるいは質疑も出なかったっていうのは、これは摩訶不思議な話で、それを我々の、今度は合同でやれって言われてもやっぱり同じことだと思いますよ。前回の資料すら、求めてたものすら出てこないままに動いてるわけでしょう。

あの時にも、インセンティブ制度を見直してほしいという議会からの意見もたくさん出ましたが、それに対して、どうやるというようなことも出てないですね、きちんとは。それから、仕様書も出てません。今回、数年にかけてやると言ったら、ましてや、もっとそうした資料を提示されて判断してくれでないと、我々はそうですか、はいつて、無責任に議会はやるわけにはいかないと私は思います。

その辺で、せつかくやられるならば、資料を十分――審議できる資料を十分そろえた上で、ぜひ開会をしていただきたいと思います。

○委員長（猶野智和君）　岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 私は観光事業、今回こういった事業の債務負担行為を出して4億1,500万円。これだけの膨大な費用をかけてやる事業ですので、私は、もう議会が資料を請求しなくても、この事業内容についてしっかりと質疑ができるような、こういった資料を出してくるのが当たり前であって、議会側がこの内容の事業というのを基本的にはよくわかっていない状態で、この資料を出してくださいって——今、竹岡委員のほうから仕様書とか当然、当たり前のこと、そういった資料も出てないわけですよ。それを議会からしっかりとというんじゃなくて、執行部がもうその辺をきちっと出してきているのが当たり前のことなんですよ。

だから、コンサルタントの事業者も少なかったら、いろいろ官製談合とか、いろいろそういった部分も発生する可能性もあるし、コンサルティングも5者以上だと、そういった中できちんと入札をするとか、そういったものがきちんと出てないと、協議も審議もできないじゃないですか。

そういった面で、もう少しその辺を議会側からもどういった資料を出すかということもあわせて、もうちょっと検討していかなければいけないんじゃないかとは思っております。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） 今の話になると先に進めんですよ。

それで、委員長が言われるように、1回、教育経済委員会の説明と同じような感じにはなるのかもしれませんがけれども、話を聞いてみた上で足りない資料、あるいは出してほしい、こういうふうなものについてどう考えておられるか、やはり、その辺のことをやるしかないと思います。

ですから、連合審査をお受けに委員長がなられたっていうことは、それはそれでいいと思いますから、委員長の今言われたような順序でおやりになられたら私はいいというふうに思います。それでないと、前に向いていけないでしょう。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 私も、今の連合審査ですね、これは反対じゃありません。

そういった中で、今、ワンペーパーのこの資料1枚ではなくて、もし今後審議するに当たって資料が出せるのであれば出していただければ、より一層質疑もしやすくなりますので、その辺も委員長の配慮で対応していただきたいことをお願い申し

上げます。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） それでは、本日はこれにて閉会いたします。お疲れさまでございました。

午後1時19分閉会

---



上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和元年10月1日

予算決算委員長